

# 県中農林 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま



- ◆特集 P1～2
- ◆農林関係の動き P3～11
- ◆GAP 取得者紹介 P12
- ◆おいしい6次化商品 P12

写真は、福島県園芸課による「ふくしまならではの花」のイベントで展示した、全て福島県産の花からなるフラワーアレンジメントです。

## 特集

## 福島県農業賞受賞者紹介

9月12日(火)、杉妻会館(福島市)において、「第64回福島県農業賞」の表彰式が開催され、今年度の農業賞(農業十傑<sup>のうぎょうじゅっけつ</sup>)として農業経営改善部門8件、集団活動部門(農村青年活動の部)1件、新規就農部門1件、復興・創生特別賞1件の授賞がありました。県中管内からは、郡山市の有限会社武田ファームさん、石川町の郷隆<sup>ごうたかし</sup>さん美枝子<sup>みえこ</sup>さん御夫妻が農業経営改善部門(※)を受賞され、知事から表彰状が手渡されました。

有限会社武田ファームさんは、郡山市のブランド牛「うねめ牛」の生産を手がけ、牛にストレスをかけない飼育や牛舎環境の整備を徹底し、特製飼料で霜降りの高品質な牛を育てています。

郷隆さん美枝子さん御夫妻は、リンゴやモモ、水稻などを栽培し、6月から翌年2月まで切れ目なく販売しています。規格外果実の6次化、自然に優しい農業の確立、地域果樹生産の振興にも注力しています。

今回の受賞を機に、今後の御活躍が大いに期待されます。

※ 経営内容が計画的であり、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体(法人を除く)及び農業法人に贈られる賞です。



【左から有限会社武田ファーム代表取締役武田晃一<sup>たけだこういち</sup>さん  
内堀知事・取締役武田エミ<sup>たけだえみ</sup>さん】



【左から郷隆<sup>ごうたかし</sup>さん・内堀知事・郷美枝子<sup>ごうみえこ</sup>さん】

9月8日(金)、杉妻会館(福島市)において、「令和5年度福島県優良農林水産土木工事」の表彰式が行われました。これは、県農林水産部が発注した工事のうち、出来映えや現場の体制、創意工夫などの観点から、他の工事と比べて極めて優秀な工事を表彰するものです。

当事務所管内から2事業団体が受賞しましたのでご紹介いたします。

## 株式会社石覚組（林道部門）

株式会社石覚組は、林業専用道「中ノ内茄子坂線（小野町大字雁股田地内）」の舗装工事において、急カーブ、急勾配が連続し、かつアスファルト舗装（特殊路面）区間とコンクリート舗装（特殊路面）区間が混在する厳しい施行条件の中、資材や機材の適切な手配とともに、アスファルト舗設時並びにコンクリート舗設時において、わだち防止、クラック防止及び平坦性の確保に努め、さらには、急カーブでの滑らかなライン取りを実現するなど、その高い技術力による品質及び出来ばえが極めて優秀であり、環境への配慮や地域貢献などへの取り組みと併せて高く評価され、今回の受賞になりました。

今後は、この林道が主伐や間伐などの森林施業に利用されるとともに、林内の木材輸送の中核的な役割を果たす恒久的な林道として利用されることが期待されます。



【コンクリート舗装（特殊路面）完成状況】

## 横山建設株式会社（災害復旧工事部門）

特殊構造物部門（災害復旧工事）においては、横山建設株式会社（須賀川市）施工の施設災害復旧（元年災）0202工事、仁井田大堰地区（須賀川市）が受賞しました。

本工事は、河川内工事であり営農のための取水を確保しながら厳しい施工条件の中で豊富な経験と高い技術力を活かし、建設技術の向上発展と工事の安全な施工の確保に寄与しました。

特に、コンクリートの打設に当たっては、メッシュシートを使用して気泡の発生を防止し、美しいコンクリート面で仕上げるとともに、打設スパンを通常より細かくブロック分けして打設することで、ひび割れ防止を図るなど施工の工夫を実施し、高い品質、出来形、出来ばえを確保したことが高く評価され、今回の受賞となりました。

工事の完了後は、下流受益地に安定した農業用水を供給しています。



【仁井田大堰地区 全景】

## 須賀川4Hクラブで、農作物の販売を行いました！

【須賀川農業普及所】

須賀川4Hクラブでは、9月2日(土)に「第16回農業総合センターまつり」、9月10日(日)に「第77回Rojima」に出店し、各会員が丹精込めて育てた農産物の販売を行いました。

当日、会員は消費者と直接顔を合わせて生の声を聞くなど、農産物の販売拡大につながる活動が展開できました。

会員の中には、次回の販売イベントに向けて農産物の選定や、より魅力的なポップのデザインを検討する方もおり、出店意欲が高っています。今後も積極的に販売イベントに出店するなど、須賀川4Hクラブの活動を活性化していきます。



【9/2 第16回農業総合センターまつり】



【9/10 第77回Rojima】

## フレッシュ農業講座を開催しました！

【田村農業普及所】

県立小野高等学校の2年生13名を対象にフレッシュ農業講座を実施しました。この講座は農業関連分野の仕事への理解を深めてもらうため、毎年開催しています。

今年は「スマート農業」を学びたいという要望を受け、8月31日(木)に田村地方の農業とスマート農業に関する講義を行いました。9月4日(月)には、株式会社A-Plusの完全閉鎖型の植物工場において、自動化された最先端の装置によるレタス栽培を見学し、生徒達は見たことのない農業の形に驚き、興味が高まった様子でした。また、JA福島さくら農産物直売所ふぁせるたむらを見学し、店長から地域の特色や地元野菜を利用した6次化商品などについて説明をいただきました。



【普及所職員による講義の様子】



【植物工場内での見学の様子】

## 「第7回」JA福島さくら和牛育成管理共進会」が開催されました！

【田村農業普及所】

9月9日(土)、田村市常葉町<sup>ときわ</sup>のJA福島さくら畜産センター広場にて、和牛繁殖雌牛の育成管理技術向上と牛群の改良促進を目的に、「第7回」JA福島さくら和牛育成管理共進会」が開催されました。月齢や繁殖成績などの条件による5つの区分に、計28頭の繁殖雌牛が出品されました。

出品牛は、全国和牛登録協会の基準により、体型や歩様<sup>ほよう</sup>、品位等について審査されました。その結果、13頭が優等賞に選出され、その中から吉田尚美さん<sup>よしだなおみ</sup>（郡山地区中田支部）の「とちもと665」号が最優秀賞を獲得しました。

優等賞に選ばれた13頭は、9月26日に福島県家畜市場で開催された「JAグループ福島肉用牛共進会」にJA福島さくら代表として出品されました。



【審査の様子】



【最優秀賞を獲得した「とちもと665号」】

## 「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーン 農林水産物PR（第2回）を開催しました！

【企画部】

県産農林水産物の消費拡大及び地産地消を推進するため、「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを実施しました。

今回は、9月9日(土)に「ふくしま道の駅・空の駅まつり」（会場：福島空港）で、アンケートに回答いただいた先着500名の方に、玉川村産梨と6次化商品をプレゼントしました。

アンケートの結果、県産農産物を週1回以上は購入している方が7割以上、県産農産物のイメージはおいしいと回答された方が7割以上となり、県産農産物を肯定に捉えていることが分かりました。来場者からは、「福島県の梨は甘くておいしい」「6次化商品のことを初めて知った」との声が聞かれました。



【玉川村産梨】



【6次化商品】



【会場の様子】

## 高校生林業見学会を開催しました！

【森林林業部】

10月10日(火)、当所主催で、県立岩瀬農業高等学校（鏡石町）の環境工学科1年生26名を対象に、森林整備や木材加工の現場を体感する見学会を開催しました。

当日は、林業アカデミーふくしま（郡山市）、高性能林業機械を活用した素材生産現場（小野町）、高性能機械を活用したチップ生産工場（玉川村）を見学しました。

林業アカデミーふくしまでは、研修棟（講義室、ハーベスタシミュレーター室など）や実習棟を見学しました。素材生産現場やチップ生産工場の見学では、株式会社アメリカ屋の鈴木優作専務すずきゆうさくに具体的な現場作業の流れや各設備について説明いただきました。

高校生からは「木材の放射線量調査はいつまで行う必要があるのか」と鋭い質問がとびだすなど高校生の皆さんにとって見学会は森林・林業への理解を深め、将来のキャリアを考える上で参考になったようでした。



【研修棟見学の様子（林業アカデミーふくしま）】



【高性能林業機械による素材生産現場】

## 令和5年度方部別専門研修（畜産・中通り）を開催しました

【須賀川農業普及所】

10月11日(水)、当所主催で、中通り方部の畜産担当普及員を対象とした専門研修を開催しました。極短穂性ごくたんすいせい（穂が短くもみの収量が極端に少ない）専用品種の稲発酵粗飼料（稲WCS）は品質が良く畜産農家のニーズが高い反面、種子の流通量が少ないため、石川地方ではいち早く採種の取り組みを独自に開始しています。研修では、現地水田で稲の生育状況を見学した後、採種ほ場を設置・運営している農事組合法人南山形ファームみなみやまがたの代表の方から取り組み状況を伺いました。各普及員からはそれぞれの地域での取り組みを想定した、活発な意見交換が行われました。



【現地ほ場を見学】



【意見交換会の様子】

## 実りの秋！郡山市立西田学園の児童が稲刈りをしました！ 【農村整備部】

10月13日(金)、郡山市立西田学園5年児童29名が、稲刈りを行いました。

児童は、「ふくしまの農育」推進事業による体験学習で、田んぼを維持管理している地元の方や多面的活動組織の方より、鎌の扱い方や刈った稲の束ね方について指導を受け、慣れない作業ながらも一生懸命に笑顔絶やさず、とても楽しそうに収穫していました。

春の田植え後、稲の生育状況の観察を行い、黄金色に育った稲を収穫するこの日を心待ちにしていました。児童にとって実りある有意義な体験活動となりました。



【講師の指導を聞く児童たち】



【稲刈り体験】

## 「石川地方の秋を体験モニターツアー」を実施しました！ 【企画部】

10月15日(日)、石川地方グリーン・ツーリズム推進協議会(事務局・企画部)が石川地方の魅力を知ってもらうため、沢田自治センター(石川町)で、「石川地方の秋を体験モニターツアー」を開催しました。当日は、21名の方が参加しました。

まず、一般社団法人ひとくらすによる木工体験を行いました。木のストラップ作りは木目を活かして作ることができ、良い記念になったようです。薪割り体験は参加者全員初めてでしたが、小さい子でも割ることができ、気持ちがすっきりしたとの声がありました。

次に郷隆<sup>ごうたかし</sup>果樹園でりんご狩りの予定でしたが、雨天のため体験内容を変更し、当センター内でアップルパイづくり体験を行いました。参加者は、家でもまた作りたいたいとレシピをメモしたり、自分で作ったアップルパイは特別おいしいと喜んで食べたりしていました。

このモニターツアーを通して石川地方が更に活性化されることが期待されます。



【木工体験】



【アップルパイ作り】

## 鏡石第二小学校で木工教室を開催しました

【森林林業部】

10月17日(火)、鏡石第二小学校において、学校主催の木工教室が開催されました。対象は小学4年生25名で、講師は県もりの案内人の小松雅喜氏、山田功氏<sup>こまつまさよし やまだいさお</sup>にお願いし、県中農林事務所職員2人とともに、のこぎり<sup>はざい</sup>と金づちの使い方を学びました。

児童は県産のスギの端材を、のこぎりを使って小さく切ったり、金づちと釘を使って組み合わせるなどして、ミニチュアベットやロボットなどを思い思いに創りあげ、「すごく楽しかった」「もっとやりたい」といった声が多数上がっていました。(なお、今回の木工教室は、福島県森林環境税を財源としています。)



【森の案内人による道具の説明】



【のこぎりの実習】

## 県中地方フラワーネットワークによる「花育授業」や「花きは場研修会及び飾花施設見学会」を行いました

【農業振興普及部】

県中地方で生産される魅力ある花きを地域の関係者により広く知ってもらい、地域内外での花き利用促進につなげていくため、昨年7月に花き利用施設、生花店、流通機関、生産者等で構成する「県中地方フラワーネットワーク」を設立しました。ネットワーク活動2年目の今年も、生花店や生産者を講師に迎え、7月に三春町立岩江小学校、9月に郡山市西田学園において花育の授業を行いました。参加した児童の皆さんは、真剣なまなざしで講師の話に耳を傾けながらアレンジメントや鉢植などに取り組んでいました。

また、10月20日(金)には、郡山市、田村市の2ヶ所の花きは場を視察し、生産現場の状況を共有するとともに、宿泊施設内を年間を通して色とりどりの花で飾花しているホテル華の湯(ネットワーク構成員)において見学会を開催しました。ホテル華の湯では毎週金曜日にホテル内180箇所に花を飾っており、日頃の「おもてなし」の心を花を通して感じられたことがとても印象的でした。県中農林事務所では、引き続きネットワーク活動を推進し、県中地方の花き産地育成と需要拡大に努めてまいります。



【花育授業風景(郡山市立西田学園)】



【飾花施設見学会(ホテル華の湯)】

10月20日(金)、福島県林業研究センター(郡山市)において、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会の主催により、「福島県きのこ品評会」が開催されました。

生しいたけの部(原木栽培部門、菌床栽培部門)、乾しいたけの部、なめこ・ひらたけの部及び参考出品に、県内の生産者から計107点の出品があり、県中管内からは下記の方々が入賞されました。入賞された皆様おめでとうございます。出品に御協力いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

生しいたけの部 原木栽培部門			
林野庁長官賞	<small>やないこういち</small> 箭内幸一 (田村市)	写真①	
福島県知事賞	<small>あげいしひろあき</small> 上石広昭 (郡山市)		
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞	<small>よこたとみお</small> 横田富夫 (郡山市)		
福島県きのこ振興協議会会長賞	<small>ふるかわまさよし</small> 古川政善 (郡山市)		
生しいたけの部 菌床栽培部門			
福島県知事賞	<small>おおのひろき</small> 大野宏樹 (天栄村)		
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会会長賞	<small>さしたくろう</small> 佐治卓郎 (郡山市)		
乾しいたけの部			
林野庁長官賞	<small>ふくだまさみ</small> 福田正三 (石川町)	写真②	
なめこ・ひらたけの部			
林野庁長官賞	有限会社鈴木農園 代表取締役	<small>すずきよし</small> 鈴木清 (郡山市)	写真③
福島県きのこ振興協議会会長賞	有限会社ハッピーファーム 代表取締役	<small>やすだじゅんいち</small> 安田潤一 (郡山市)	



【①林野庁長官賞を受賞した原木しいたけと②乾しいたけ】

【③林野庁長官賞を受賞したなめこ】

## 高久田地区ほ場整備工事の安全祈願祭が行われました

【農村整備部】

10月23日(月)、高久田地区ほ場整備工事の施工者である藤田建設工業株式会社主催により安全祈願祭が行われました。

安全祈願祭へは小久保<sup>こくぼ</sup>所長が出席して鍬入の儀などを行い、本事業により、ほ場の大区画化や用排水路、農道を整備し、維持管理の軽減と生産性の向上及び担い手への農地集積・集約化が進められ、もうかる農業、誇れる農業を創り上げられるよう、工事の安全と円滑な進捗を祈願しました。



【安全祈願祭の様子】

## 県中地方特定家畜伝染病防疫演習を開催しました！

【農業振興普及部】



【殺処分の演習】

大陸から渡り鳥などの野鳥が飛来する秋以降の鳥インフルエンザ発生に備えるため、10月26日(木)、玉川村須釜公民館において、午前と午後の2回に分けて警察、各市町村、関係団体、県関係機関等の職員約100名を参集し「令和5年度県中地方特定家畜伝染病防疫演習」を開催しました。

演習では、防護服の着用・脱衣、殺処分及び車両消毒、三つの作業を参加者に体験いただき、有事の際の防疫対策を確認しました。

今回の防疫演習を踏まえ、特定家畜伝染病の発生時に迅速かつ的確な防疫対策を展開できる体制を強化してまいります。

## 「ふくしま農業人フェア in 郡山」を開催しました！

【農業振興普及部】

11月4日(土)、ビッグパレットふくしま(郡山市)において、「県中地域就農相談会」を開催しました。当日は市町村や農業法人など31の団体等が出展し、自営での就農を目指す方や法人での雇用による就農を希望する方、農業に関心がある方など111名が来場しました。来場者はそれぞれの思いや意向に沿ってブースを回り、情報収集や相談を行いました。

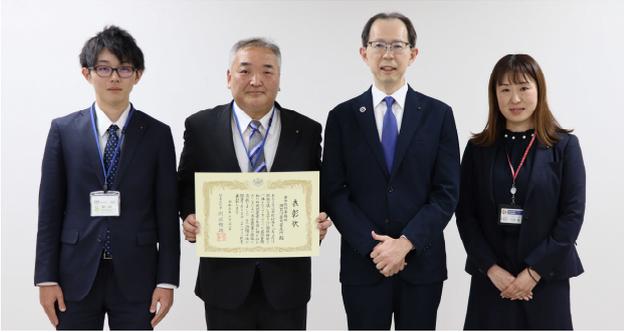
県中農林事務所では、新規就農を希望する方からの相談を常時受付けており、関係機関と連携して支援しておりますので、お気軽に御相談ください。



【相談の様子】

農業振興普及部 024-953-1310  
田村農業普及所 0247-62-3113  
須賀川農業普及所 0248-75-2180

## 須賀川農業普及所が功績を表彰されました！



11月28日(火)、須賀川農業普及所は県中地方できゅうりの出荷量増加や新規就農者の育成に功績を挙げたことを賞され、福島県庁にて内堀知事より表彰状が授与されました。

須賀川農業普及所は、2017年(平成29年)に須賀川市などの市町村、JA 夢みなみと連携して「きゅうり振興会議」を設立。関係機関一体となって、高齢化による担い手不足に対応した省力化やハウス栽培普及に向けた補助事業を推進し、生産現場の課題解決を実現した功績が認められました。

写真の左から橋本技師、大橋所長、内堀知事、本田主査(令和4年度担当で現在は県農業振興課)。表彰を受けた須賀川農業普及所大橋所長より、コメントをいただきました。

この度の功績表彰は、須賀川農業普及所としましても大変栄誉なことで、これまで携わった職員一人一人の普及活動のたまものと嬉しく思っています。

特に新規就農者に対しては、長期(5年間)の重点支援を行い、本人の理解が深まるように「きゅうり基礎力アップ研修会」の充実や一対一での対応によるきめ細やかな経営・技術改善指導を行いました。

この受賞を期に、ますます本県並びに地域農業の振興に寄与できるよう職員一同、さらに精進して参ります。

## 永年勤続表彰職員 30年の振り返り



12月1日(金)に、当事務所の永年勤続職員(勤続30年の職員)に対して、小久保所長から表彰状を授与しました。

所長からはお祝いの言葉とともに、「皆様の培ってきたスキルをこれからも存分に発揮し、後輩達にもつないでいてください。」とエールが送られました。

写真は前列左から、金澤さん(須賀川農業普及所)、高野さん(須賀川農業普及所)、二階堂さん(企画部)、小久保所長、手代木さん(農村整備部)、市瀬さん(農村整備部)、橋本さん(森林林業部)。表彰状を授与された6名からは、30年を振り返りそれぞれコメントをいただきました。



### 橋本 正伸さん(森林林業部)

本庁の県産材特産グループに在籍中、県産木材の利活用を進めるため、知事室の応接テーブルや部長室の家具等々、あらゆる物品の試作・製品化に取り組みました。

あれから約20年。今でも現役で使われている姿を見かけると感慨深いです。(写真:県産木材製の事務机)

にかいどう はるみ  
二階堂 晴美さん (企画部)



勤続30年、農業行政に携わり改めて「食」の大切さと地元農水産物の美味しさを実感しております。「食」の安全・安心に係る情報発信は行政の重要な役割であると肝に命じ、日々取り組んでおります。

写真はYouTube動画福島県農林水産部公式チャンネルにアップした食品表示に係る動画のサムネイルです。紙芝居風に作成しました。ご覧いただければ幸いです。

県中地方は初勤務です。毎日「上戸頭首工」を眺め通勤しています。私の姓は、田村町手代木地区から喜多方に移ったとき、この地を忘れないよう名乗ったと言い伝えられています。県中地域において、事業実施に向け尽力していきます。

(写真：国道49号線から眺める上戸頭首工)

てしろぎ よういち  
手代木 洋一さん (農村整備部)



たかの やすひろ  
高野 靖洋さん (須賀川農業普及所)



平成13年から17年まで双葉農業普及所に勤務しました。初めての普及活動で、大熊町、浪江町の果樹農家の皆さんに大変お世話になりました。

写真はJA大熊町部会で静岡県の肥料会社を視察研修した際に、なし、キウイ農家の皆さんと撮影しました(本人右端)。

いちせ けんいち  
市瀬 健一さん (農村整備部)

農業農村の振興のため、農業農村整備事業の推進に向けて尽力しています。

写真は、水稻と畑作物の生産性の向上を目指して、ほ場の大区画化を進めている田村市船引町の復興基盤総合整備事業北移地区の状況です。



かなざわ し のぶ  
金澤 忍さん (須賀川農業普及所)



平成5年の記録的な大冷害の年に西白河農業改良普及所で新規採用となり、以来30年間、2度の農業短期大学校勤務を含めて、常に農業(畜産)の現場で農業者支援や農業後継者育成に携わってきました。最初は何もわからずに就いた普及指導員(当時は農業改良普及員)という仕事ですが、農業者への支援によって地域農業が元気になる様子を幾度となく経験し、この仕事を選んで本当に良かったと思っています。まだまだ現場で地域農業の活性化に貢献したいです。

(写真：2度目の須賀川農業普及所勤務で初めて新規就農者支援の担当になりました。まだまだ数少ないケースですが、新規参入で畜産(肉用牛繁殖)経営を開始した方の支援の様子です。)

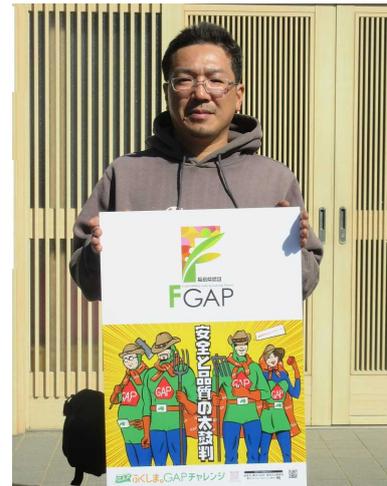
## GAP 取得者紹介

①取得者名(市町村) ②GAPの種類(取得した品目) ③取得者から一言

- ① 安藤農園 あんどうみつあき 安藤充章(郡山市)
- ② FGAP(米)
- ③ FGAPの取組を通じて衛生管理を徹底し、安全・安心な米をお客様に提供したいと思います。

### GAPの種類

- ・GLOBALG.A.P 国際的に広く適用する第三者認証 GAP
- ・ASIAGAP 日本発の国際基準認証
- ・JGAP 日本のデファクトスタンダードの GAP
- ・FGAP 福島県による公的認証 GAP



【安藤農園の安藤充章氏】

## おいしい6次化商品

＼こおりやま産業博 KORIYAMA EXPO AWRD 2023 準グランプリ受賞／

### ★とうえいさんぎょう 東栄産業株式会社 (郡山市) の「甘さ控えめお野菜ジャム」

福島県産の野菜を手作りでジャムに加工しています。旬の食材を選び、その食材が最大限引き立つよう砂糖などの量を調整しながら作っており、手間と時間をかけているからこそ自然素材の魅力がギュッと詰まっています。

うすい百貨店地下や、ふくしま逸品堂、ネットショッピングなどから購入できます。

また、ふくしま満天堂グランプリ2017でグランプリを受賞した「みしらず柿のジャム」も販売しておりますので併せてご賞味ください！



【こおりやま産業博出展の様子】



←郡山市ブランド野菜「御前人参」を使った「にんじんをトロっと煮詰めた甘さ控えめお野菜ジャム」

東栄産業株式会社  
〒963-0724 郡山市田村町  
上行合字北川田 33-4

【編集・発行】福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒963-8540 郡山市麓山一丁目1番1号  
TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314  
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>